

3) 生活習慣病相談・栄養相談、健康教育等について

1. 生活習慣病相談・栄養相談

市民が生活習慣病を予防し、発症や進行を遅らせることができるよう、自分自身の問題に気づき、よい生活習慣の改善に向け行動変容でき、継続的によい習慣を実践できることを目的に実施している。

①対象者および周知方法

	対象者	周知方法
(1)	全市民	広報、さわやか健康だより（年間保存版）
(2)	プレ特定健診受診者のうち保健指導該当者（腹囲・血圧・脂質・血糖の値が保健指導判定値以上）	個別通知・電話勧奨・訪問勧奨
(3)	特定健診受診者の40歳代のうちHbA1cが保健指導判定値（5.6～6.4%）の人	個別通知・電話勧奨・訪問勧奨

※定期的に通院している人は除く。

②実績

年度	相談内容	生活習慣病相談					合計	年度	相談内容	栄養相談					合計
		高血圧	脂質異常症	糖尿病	肥満	その他				高血圧	脂質異常症	糖尿病	肥満	その他	
H26		0	3	7	0	0	10	H26		2	2	5	0	13	22
H27		0	1	3	0	0	4	H27		0	3	3	3	3	12
H28 (12月末現在)		0	8	7	0	0	15	H28 (12月末現在)		4	1	6	2	0	13

③プレ特定健診・特定健診保健指導該当者の参加状況

（件）

健診受診年度	プレ特定受診者のうち保健指導該当者			特定健診受診者の40歳代のうちHbA1cが保健指導判定値の人		
	案内発送者数	健康相談参加者数	参加率	案内発送者数	健康相談参加者数	参加率
H26	83	4	4.8%			
H27	122	1	0.8%	73	8	11.0%
H28 (12月末現在)	53	2	3.8%	30	4	13.3%

【参加者の傾向】

- ◆通知を見るまで、健診結果を意識していない。
- ◆野菜が少ない、間食や外食が多い、運動量が少ない。
- ◆約30分の相談の中で、自分自身の生活を振り返り、目標を設定される。

④平成29年度の予定

今年度と同様の対象者に、個別勧奨を行う。個別勧奨のリーフレット等は参加者の意見を聞きながら、自らの健康状態を意識してもらい、健康相談を活用してもらえよう工夫する。

2. 健康教育等

●一般健康教育

市民の健康保持・増進を目的に、市民が属する各種団体からの要請に基づき、事業を実施。

【実績】

実施年度	実施回数 (回)	実施者数 (人)	主なテーマ
H27	30	530	子どもの歯の健康について、生活習慣病予防の食生活について、
H28 (12月末現在)	7	195	子どもの歯の健康について、トイレトレーニングについて

●みんなでトーク（担当課：まちづくり協働課）

市の施策や事業について説明し、市民とともに話し合い、互いに理解を深めることを目的に、市民等で構成される団体からの要請に基づき、事業を実施。

【健康増進課のテーマ】

健康くさつ21（第2次）、食育、糖尿病対策、こころの健康の4項目を設定。

【実績】

実施年度	実施回数 (回)	実施者数 (人)	テーマ
H27	10	157	健康くさつ21、食育推進、糖尿病対策
H28 (12月末現在)	4	159	健康くさつ21、食育推進、糖尿病対策

●かかりつけ医等普及促進事業

①「お出掛けドクターとお気軽トーク」

一般社団法人草津栗東医師会の医師が、医療や健康に関する疑問や質問について回答し、参加者の理解を深めることを目的に、団体からの申し込みに基づき、事業を実施。

【実績】

実施年度	実施回数 (回)	実施者数 (人)	主なテーマ
H27	4	138	認知症、かかりつけ医のを見つけ方
H28 (12月末現在)	12	557	糖尿病、認知症、子どもの感染症と予防接種の役割

②「お出掛け薬剤師とお気軽トーク」

一般社団法人びわこ薬剤師会の薬剤師が、薬の適正な使用方法や、薬局の健康管理に関する機能やジェネリック医薬品などを紹介し、参加者の理解を深めることを目的に、団体からの申し込みに基づき、事業を実施。

【実績】

実施年度	実施回数 (回)	実施者数 (人)	主なテーマ
H27	10	254	病気と薬の関係、ジェネリック医薬品について、かかりつけ薬局の役割
H28 (12月末現在)	7	187	薬局の役割、薬の正しい使い方と飲み方、ジェネリック医薬品について